

# 経営比較分析表

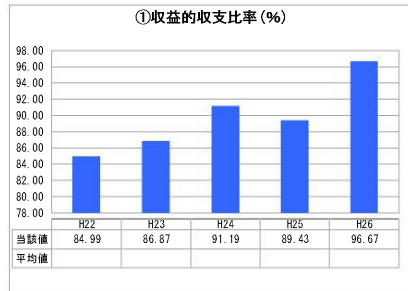
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	77.34	93.20
1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)			
2,670			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,893	67.55	116.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,026	2.53	2,381.82

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



「単年度の収支」



「累積欠損」



「支払能力」



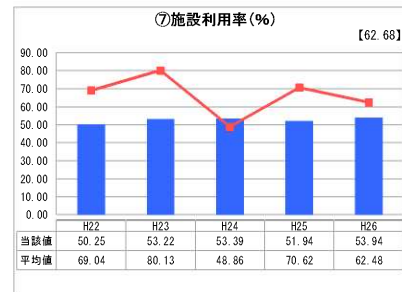
「債務残高」



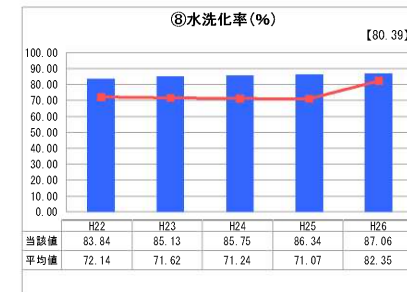
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

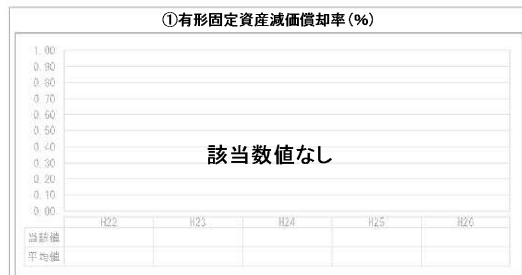


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

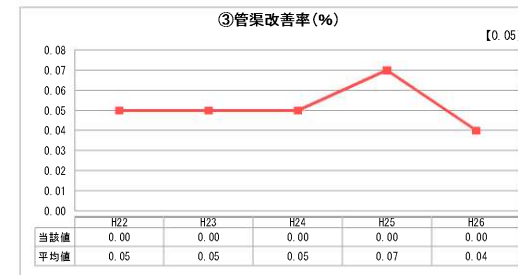
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・経費回収率  
 H22…76.74%  
 H24…80.94%  
 H26…73.41%

・汚水処理原価  
 H22…186.07円  
 H24…175.34円  
 H26…198.55円

〈要因〉  
 維持管理費は平準化しているが、人口減に伴い、使用量が減少傾向にあるため、経費回収率や汚水処理原価に影響があると考えられる。  
 平成28年度に料金改定を行い、経営の改善化を図る。

### 2. 老朽化の状況について

長寿命化計画を策定し、施設の効率的な改築、更新を行う。

### 全体総括

下水道事業は整備を完了しており、今後は一定のサービス水準を確保した上で改築更新・維持管理の費用を抑制・平準化し、財政の健全化につとめる必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

# 経営比較分析表

熊本県 苓北町

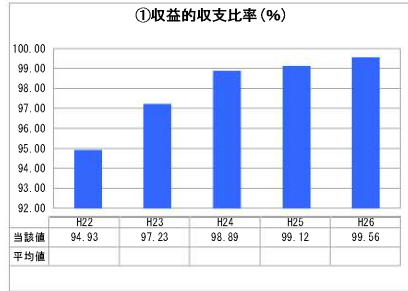
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	2.93	84.14
1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)			
2,670			

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,893	67.55	116.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
228	0.21	1,085.71

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- [ ] 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



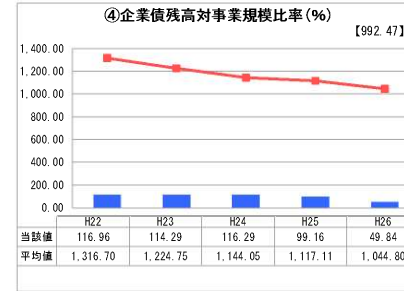
「単年度の収支」



「累積欠損」



「支払能力」



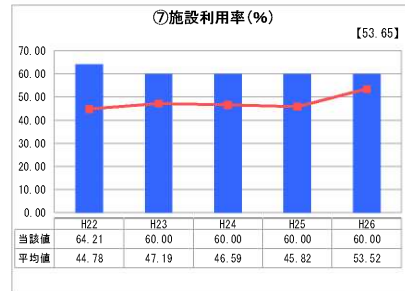
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①汚水処理原価減少傾向にあったがH26を見ると上昇している。  
 H22・・・259.70円  
 H25・・・236.81円  
 H26・・・286.04円

②経費回収率が上昇傾向にあったが、H26に減少している。  
 H22・・・53.54%  
 H25・・・58.85%  
 H26・・・50.38%

(要因)

①H26については施設の修繕を行ったため上昇した。また、過去数年間大きな修繕等が発生していなかったため。

②①により原価が上昇した結果、経費回収率が減少した。

(今後の方針)

①については、H28より料金改定を行うため修繕等が発生しなければ、また上昇すると見込んでいる。処理原価については維持費用抑制などを可能な範囲で行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ、老朽化での修繕・更新などは出ていない。今後は機能診断の結果と現場の状況を見ながら、適宜行っていく。

### 全体総括

企業債の残高も低く、現在の経営は安定しているものと思われる。水洗化率も94.3%と高く、新規路線等は予定されていないが、将来的には既存施設の老朽化などによる修繕等が含まれてくることも見込まなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

# 経営比較分析表

熊本県 苓北町

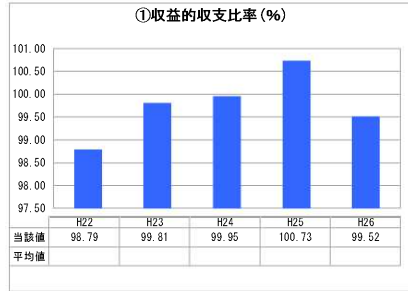
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	19.74	100.00

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,893	67.55	116.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,538	0.10	15,380.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



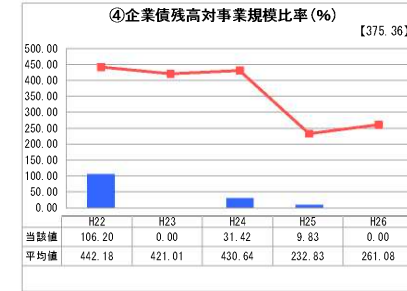
「単年度の収支」



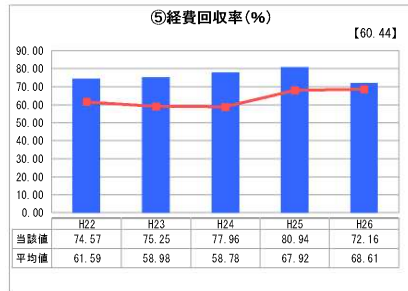
「累積欠損」



「支払能力」



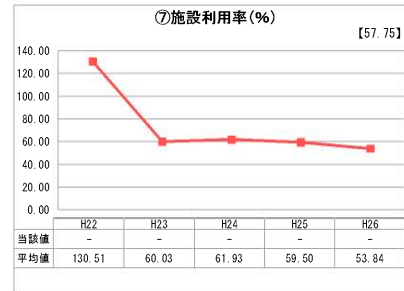
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設効率性」



「使用料対象の捕捉」

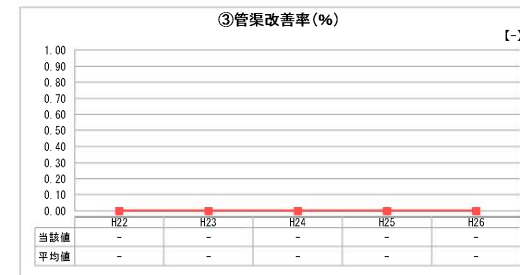
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

#### ■経費回収率

H22・・・74.57%  
H25・・・80.94%  
H26・・・72.16%

#### ■汚水処理原価

H22・・・192.89円  
H25・・・176.34円  
H26・・・201.29円

#### (要因)

将来的に人口減少が避けられないなか、使用料金が減少となり経費回収率や汚水処理原価への影響がでてくるため、経費節減や料金改定を行い経営安定を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成10年度から特定地域生活排水処理事業により浄化槽を400基以上設置してきたが、古いもので15年以上経過し、ダイヤフラムなど年ごと交換する部品以外にも漏水や放流管からの漏水もでてきている。

#### 全体総括

経営の健全化を図るために、単独浄化槽やくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換により水洗化率の向上を図り、収益増加につなげたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。